

# 令和3年度 伴走型小規模事業者支援推進事業 地域経済動向調査まとめ

(令和3年 2021年 12月値・要約版)

この調査は、経営者のみなさまが、経営状況の分析や事業計画策定に活用することを目的として作成しました。たつの市及び西播磨地域が、全国と比較してどのような特徴があるのか等を分析しています。詳細はたつの市商工会HPで公開しています。

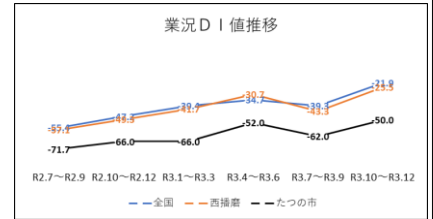
(データ出先：小規模景気動向調査、兵庫県中小企業景況調査、西播磨地域景況調査、たつの市商工会景況調査)

## 産業全体の景気動向の推移

〈用語説明〉DI値＝「好転」企業割合から「悪化」企業割合を差し引いた値を示す  
(調査事業所4、「好転」事業所1、「悪化」事業所3なら、25%-75%=-50%がDI値)

### <概要>

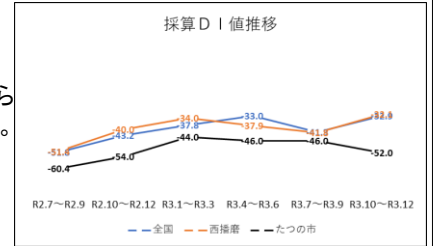
新型コロナウイルスの新しい変異株の動向、また引き続き顕著化する原材料価格の高騰やそれにもなう物価の急激な上振れリスクなども踏まえると、最後の中小企業の先行きには注視が必要である。最新(12月公表)の日銀短観では、特に非製造業の中小企業における回復の遅れが指摘されており、先行きに関する業況判断DIもやや悪化している。いずれにしても中小企業の景況を回復させるための対策は今後も継続的に求められる。



### <地域別>

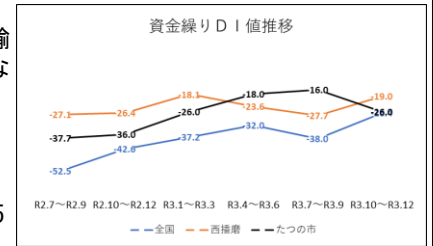
#### 【全国】

2021年10-12月期の全産業の業況判断DIは、▲21.9(前期差17.4pt増)となり前期から改善した。製造業の業況判断DIは、▲22.9(前期差15.5pt増)となり、前期から改善した。建設業の業況判断DIは、▲27.5(前期差3.4pt増)となり、前期から改善した。商業の業況判断DIは、▲19.9(前期差22.5pt増)となり、前期から改善した。サービス業の業況判断DIは、▲17.1(前期差28.4pt増)となり、前期から改善した。どの業種も前期に比べて改善しており、経済活動の活発化に伴い、回復基調となった。



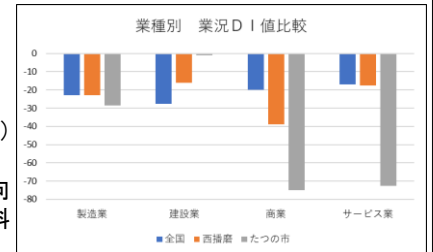
#### 【兵庫県】

企業の業況判断は、持ち直しの動きが続いている。個人消費も同じく持ち直しの動きで、輸出は増加している。設備投資は減少計画にあるものの概ね堅調である。生産は弱めの動きとなっている。有効求人倍率は前月と同水準であった。雇用者所得は弱めの動きとなっている。倒産件数は前年と同水準であった。



#### 【西播磨】

西播磨全体の業況は、▲25.5(前期差17.8pt増)と回復、売上高は、▲24.8(前期差13.5Pt増)と回復、採算状況が、▲32.1(前期差9.7pt増)と回復、資金繰りは、▲19.0(前期差8.7pt増)と回復。来期は、▲26.3(前期差2.2pt減)でやや悪化する見込みとなっている。全国と比較しても回復の傾向となっている。



#### 【たつの市】

たつの市の業況は、▲50.0(前期差12pt増)と改善、売上高は、▲52.0(前期差14pt増)と改善、採算状況は、▲52.0(前期差6pt減)で悪化、資金繰りは、▲26.0(前期差10pt減)で悪化。来期は、▲24.0(前期差20pt増)で改善するとの見通しとなっている。

緊急事態宣言の解除後、経済活動も再開し人流も増えた事で、見通しについても改善の傾向となっているが、飲食店等の客足の戻りは鈍い状況が続いている。関連する酒類卸売業や食品販売店や各業種においても先行きが見通せない状況である。

### <業種別業況>

全国的には、小規模企業の業況DIは、売上額DIが大幅、それ以外が小幅な改善となった。また、全業種共通して売上額DIが一桁台となった。経済活動の活発化に伴い、売上の回復基調が鮮明となる結果になった。ただし、前年対比という調査の特性上、業況DIはコロナ禍前の水準まで回復は見られるものの、実際には原材料等の高騰によるコストの増加や融資据置期間終了でコロナ関連融資の返済が開始となったなどの影響で、採算・資金繰りに苦慮する事業者が増えたとのコメントが目立った。また変異株の感染拡大の影響に注視が必要であるとの声もあった。

### <総括コメント>

国内景気は、新型コロナウイルス感染症による厳しい状況が徐々に緩和される中で、このところ持ち直しの動きがみられる。

先行きについては、経済社会活動が正常化に向かう中で、各種政策の効果や海外経済の改善もあって、景気が持ち直していくことが期待される。ただし、供給面での制約や原材料価格の動向による下振れリスクに十分注意する必要がある。また、変異株をはじめ感染症による内外経済への影響や金融資本市場の変動等の影響を注視する必要がある。

たつの市においては、人流が多い地域柄、新型コロナウイルス感染症対策を十分に行いつつ、事業者においては緊急事態宣言の解消に伴う経営の立て直しと合わせ、政府の経済対策(月次支援金・持続化補助金・事業再構築補助金等)も十分に活用しながら事業継続への取り組みを引き続き積極的に行う必要がある。

## 管内の雇用情勢

〈用語説明〉有効求人倍率 = 求人数 ÷ 求職者数  
(仕事が20件 求人応募者10人 なら 2.0倍)

令和3年12月期の有効求人倍率は、全国1.17倍、兵庫県0.91倍、龍野管内1.07倍となっている。たつの市は微増であるが兵庫労働局は足元の雇用情勢について求職が求人を上回っており、厳しい状況にあるとの情勢判断を継続した。加えて新型コロナウイルス感染症が雇用を与える影響に引き続き注意する必要があるとの指摘も維持した。

